

平成29年度
横須賀市
認知症高齢者
介護教室講演会

優しさを伝えるケア技術： ユマニチュード[®]

「ほとんど言葉を発さない方にどう接すればいいかわからない…」

「認知症の親とのコミュニケーションがうまくいかない…」

「些細な事で叩かれたり引っかけられたり暴力を振るわれる」

悩みを抱えるケアする人すべてに贈る介護技術

2017
10/17^(火)
14:00～15:30

会場 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

横須賀市本町3-27(横須賀芸術劇場内)

ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部代表
国立病院機構 東京医療センター 総合内科医長

講師 本田美和子氏

対象 横須賀市在住・在勤・在学の方

定員 先着500名

申込先 横須賀市コールセンター

046-822-2500

おかげ間違えにご注意ください。

募集期間 9月11日(月)～10月11日(水)



※HUMANITUDEおよびユマニチュードの名称およびそのロゴは、
日本およびその他の国における仏国SAS Humanitude社の商標または登録商標です。

ユマニチュードとは

ユマニチュードは、2人のフランス人のイヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティが現場での実践的な経験を踏まえて考え出した包括的なコミュニケーションに基づいたケア方法です。「ほとんど言葉を発さない方にどう接すればいいかわからない…」、「認知症の親とのコミュニケーションがうまくいかない…」。このような医療、介護現場の人すべてが抱える悩みに対して、ユマニチュードの4つの柱が解決策を与えてくれます。

見る

視線を
つかみにいく

話す

歌うように
優しく穏やかに

触れる

広く、優しく、
ゆっくり

立つ

40秒から人間の
尊厳を取り戻す

ユマニチュードの事例

介護を行っている最中、普段は何も反応がなく一般的には何も理解していないとされている認知症の患者に正面から視線を捉え、話しかけ続けながら介助にあたるようにしたところ、僅かな時間の間にこちら側からの語りかけに対して患者からの発言などの反応が見られました。他にも、ユマニチュードを実践した現場からは、噛みつきや叩く、引っ搔くなどの攻撃的な行動や徘徊が減った、寝たきりだった人が立ち上がり歩き出したなどの症状の改善が見られたとの報告が多数寄せられました。このことからユマニチュードの介護方法は「魔法のような」とも称されるようになりました。

現在では、フランスでは400を超える医療、介護現場でこの技法が導入されており、日本でも多くの看護師や現場で介護に当たる方がユマニチュードについての研修を受けています。今回の講演会では、4つの柱を基礎とした150を超える実践的な介護技術の一部と「人とは何か」、「ケアをする人とは何か」ということを改めて考えさせられる哲学をご紹介します。



講師・創始者プロフィール



ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部代表
国立病院機構 東京医療センター 総合内科医長
本田 美和子氏

困難の解決策となると感じ、実際にフランスに訪れケア方法を学ぶ。2012年にユマニチュードの創始者イヴ・ジネスト氏とロゼット・マレスコッティ氏を招き、日本での講演を実現させる。

ユマニチュード創始者
イヴ・ジネスト氏

体育学の教師時代に、病院職員の腰痛予防に取り組んだことをきっかけに高齢者、認知症患者の介助にも携わるようになる。その際に自分も含め職員と高齢者、認知症患者との介助がうまくいかないのには何か理由があると考え、高齢者や認知症患者の介護方法の探求を始める。



ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

横須賀市本町3-27(横須賀芸術劇場内)

最寄駅・駐車場情報

京急線 汐入駅から徒歩1分、横須賀中央駅から徒歩8分

JR横須賀線 横須賀駅から徒歩8分

京急バス 汐留バス停から徒歩2分

地下1・2階に一般有料駐車場があります。

お問い合わせ

横須賀市役所
福祉部 高齢福祉課 家族支援係
☎046-822-8291